

羽島市議会議員 野口 佳宏

≡二報告会

2016.8.1 (月)19:30 ~ @森公民館

自主防災組織の役割と重要性について



# 内容

1.羽島市の災害

2.自主防災組織の重要性(羽島市の取り組み)

3.おまけ

# 1.羽島市の災害（活断層型地震）

## ①濃尾地震（明治24年10月28日/午前6:38）

- ・本巢市根尾付近を震源とした（M 8.0）の内陸地震であり、岐阜県の地域は、震度 6～7 と推定される。
- ・羽島市は激震域であり、住家被害率は 90～100% である。当時中心市街地であった竹鼻町は、地震により住家100%が倒壊した後、火災が発生している。

# 1.羽島市の災害（海溝型地震）

## ②東南海地震（昭和19年12月7日/午後1:35）

- 熊野灘沖で発生した地震。（M 7.9）
- 羽島市周辺では、震度 5 の強震であったが、詳しい状況は戦時中であるため不明。
- 羽島市では、住家の被害は多くないと推定されるが、竹鼻町では液状化発生が記録されている。

# 1.羽島市の災害(水害)

## ③台風17号による豪雨・9. 12水害(昭和51年9月8日～)

- ・岐阜県での被害は、死者5名・負傷者7名・  
床上浸水11,363世帯・床下浸水30,079世帯となった。
- ・福寿町平方地内・長良川左岸堤防では地元の方をはじめ、  
消防団、水防団600名が出動し、堤防の決壊を免れた。  
(土嚢・15100袋/杭・711本/鉄線など)
- ・婦人会による炊き出しも行われた。(16日までに63000食)

## 2. 自主防災組織の重要性について

### ①「自主防災組織」とは…？

- ・近い将来、東海地震、東南海・南海地震等の大規模地震の発生が懸念されており、安心・安全に関する地域住民の皆さんの関心が高まっている。
- ・地域住民が協力し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」という「共助」による地域住民のコミュニケーションや連帯意識にもとづく防災活動を目的とした組織です。
- ・自治会単位や校区単位で自主防災組織を立ち上げ、防災訓練等を実施することにより、災害時の被害を最小限にとどめることができます。
- ・発災前から防災に関する知識を学び、地域内の確認、点検を行うことで、被害を未然に防ぐこともできます。

## 2. 自主防災組織の重要性について

### ②「羽島市防災コーディネーター」とは…？

講座を受講して防災に関する知識、技術を取得。



市に認定された方が「羽島市防災コーディネーター」として登録される。



発災時は応急活動、平時には自治会や事業所等で防災に関する知識や技術の普及を行うことが期待されています。

※登録者数は 166名/男性 115名・女性 51名(平成27年7月6日現在)

## 2. 自主防災組織の重要性について

### ③「自主防災組織リーダー研修会」とは…？

地域防災の担い手育成や地域住民の自助・共助による災害に強いまちづくりを考えるきっかけとして毎年開催されています。

今年は、岩井慶次氏をお招きし、講演されました。  
自主防災組織の代表者（自治委員）や地域の防災担当者など、100人を超える方が参加。



## 2. 自主防災組織の重要性について

### ④まとめ

・一言でいうと「向こう三軒両隣の精神－互近助の精神」です。

(互近助・ごきんじょ)

住んでる町、隣近所でお互いに隣人同士で助け合う。これは外出先、職場、学校などで互いに近くにいる人が困っているなと思ったら、見て見ぬふりをせず、気軽に声をかけることです。

・阪神淡路大震災では、建物などの下敷きになった自力脱出困難者約35000人のうち77%は近隣住民が救助した。

(亡くなった人の84%は地震発生後約14分以内に死亡)

# おまけ

- 1.「はしメール」の充実
- 2.災害時のドローンの活用

# 1.「はしメール」の充実

- ・防災行政無線の放送内容を登録者にメール配信中。
- ・今後は、災害で本市に訪れるボランティアの方にも登録頂き、復興の一助とすると共に、一層の情報の付加を進めます。

# 2.災害時のドローンの活用

- ・先月羽島市はドローン1機を購入しました。
- ・このドローンは橋梁点検に使用されますが、今後は災害時等にも活用できるように取り組みます。

ご清聴ありがとうございました!!